

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	(介保)包括的・継続的ケアマネジメント支援事業			
予算科目	3 款 2 項 4 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 保健・医療の充実			
所管課情報	担当課: 長寿介護課		電話番号(内線): 544	
記入者情報	所属長: 武智 茂記		担当責任者: 大谷 香代子	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	65歳以上の高齢者			
根拠法令等	介護保険法			
事業の目的	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護支援専門員、主治医、地域の関係機関等の連携並びに在宅と施設の連携等地域において、多職種相互の協働等により、個々の高齢者の状況や変化に応じて地域における連携・協働の体制作り併せて、個々の介護支援専門員に対する支援を行う。			
事業の内容	包括的・継続的なケア体制の構築 介護支援専門員のネットワーク構築 介護支援専門員の日常的個別指導・相談支援 困難事例等への指導・助言			
改善策の具体的な取り組み(当初)	新しく正規職員として主任介護支援専門員が配置され支援体制を整備する。研修会の開催や関係機関と連携を取りながら介護支援専門員等のネットワークの構築を図る。			
改善策の具体的な取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	50	44	5	34
	人件費	6,363	7,238	3,619	7,238
	合計	0	7,282	3,624	7,272
人件費内訳	人工数	0.80	0.90	0.45	0.90
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	6,363	7,237	3,618	7,237
財源内訳	国庫支出金	19	17	2	13
	県支出金	9	8	1	7
	地方債	0	0	0	0
	その他	2	9	1	7
	一般財源	6,383	7,248	3,620	7,245

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
日常的個別相談件数	人	16	30	5	7
支援困難事例指導件数	人	4	20	4	4
ケアマネ研修の開催回数	回	3	3	1	3

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
	50	50	50	50	50	250

成果指標				
成果指標	日常的個別相談件数、支援困難事例指導件数、事業所への研修会開催回数			
指標設定の考え方	相談件数・指導件数等の増加が、介護支援専門員の高齢者に対する安定した支援体制につながる。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	50	50	50	0
実績	23	14	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>経験豊富な主任介護支援専門員が正規職員として勤務し、高齢者やその家族が地域で安心して生活できるよう介護支援専門員や関係機関と連携し、支援体制の整備を図ることができた。市内の介護支援専門員研修会で、平成29年度から移行する総合事業や生活支援サービスの整備に向け、地域の社会資源を洗い出し、情報の共有や意識向上に努めた。今後、医療と介護の連携を充実させ、地域包括ケアシステムの構築に向け、包括的・継続的な支援体制をさらに整備していく必要がある。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>主任介護支援専門員の配置により、支援体制の整備はある程度行えた。今後、医療と介護の連携をさらに充実させ、地域包括ケアシステムの構築を強かに推し進めていく必要がある。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	